科目基礎情報 科目番号 0077 授業形態 講義 開設学科 建築学科 開設期 前期 教科書/教材 都市計画 川上光彦 森北出版株式会社担当教員 中村 裕文 到達目標 1)都市計画の主要思潮の考えかたを理解する。 2)主要な都市計画思潮と現代の都市計画の関係を理解する。 3)現代都市計画の諸問題について説明できるようになる。 ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 標準に入り、アリック 理想的な到達レベルの目安 標準に入り、アリック 現場的な到達レベルの目安 標準に入り、アリック 現代の都市計画手法と過去の対象となった都市と特徴を述べることができる。 現在の都市計画手法と過去の都市計画手法と過去の都市計画手法と過去の都市計画手法と過去の都市計画手法と過去の都市計画手法と過去の都市計画をあばて検討することができる。 郭価項目3 「評価項目3 「現代学行	3市計画思潮を中心に講ららかじめ予習しておく。 らいて現代の都市計画に	5 2 -49613-2 C3051 を 未到達レベルの C 過去に実施されるの事例を知っている。 現在の都市計画手法、 似点を知っている。 現代日本の都市間でいる。 現代で特徴を問いている。 現代では、の事ができる。 現代では、の事ができる。 の事ができる。。	必修 位: 1 目安 (到ごと) たかる 計画 表数 手をる 計画 の背景と ない には、 1 には、	生記入欄 したレベ。 A · E)))))))))))))))))))	С
科目番号 0077 授業形態 講義 開設学科 建築学科 開設期 前期 教科書/教材 都市計画 川上光彦 森北出版株式会社 担当教員 中村 裕文 到達目標 1)都市計画の主要思潮の考えかたを理解する。 2)主要は都市計画思潮と現代の都市計画の関係を理解する。 3)現代都市計画の諸問題について説明できるようになる。 ルーブリック 埋想的な到達レベルの目安 標準 の対象を立たができる。 現在の都市計画手法を散けて検討することができる。 現在の都市計画手法を取りの類談とはいて説明することができる。 現在の都市計画手法を取りてきる。 現在の都市計画手法を取りてきる。 おば市の都市計画について記明することができる。 学科の到達目標項目との関係 学習・教育到達度目標 B 学習・教育到達度目標 C JABEE a JABEE b JABEE d 教育方法等 概要 近代都市計画の主要思潮を通して都市 授業の進め方・方法 関する考え方、時代的な思潮などをありまます。 カートフォリオ (学生記入欄) ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、ないまに対しませいませいませいませいませいませいませいませいませいませいませいませいませいま	単位の種別の対象学年 週時間数 注社 ISBN978-4-627-2 2 3 3 4 3 4 3 5 5 5 6 6 7 6 7 7 7 8 7 8 7 8 8 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8	と単位数 履修単 5 2 2 - 49613-2 C3051	世位: 1 日安 (学達)である 手法としる 手をある 計画 の背景とな 「お計画の背景とな	A ・ E	3 ·	С
接案形態 講義 開設学科 建築学科 開設期 前期 新和書/教材 都市計画 川上光彦 森北出版株式会社 担当教員 中村 裕文 到達目標 1)都市計画の主要思潮の考えかたを理解する。 2)主要な都市計画思潮と現代の都市計画の関係を理解する。 3)現代都市計画の諸問題について説明できるようになる。	単位の種別の対象学年 週時間数 注社 ISBN978-4-627-2 2 3 3 4 3 4 3 5 5 5 6 6 7 6 7 7 7 8 7 8 7 8 8 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8	と単位数 履修単 5 2 2 - 49613-2 C3051	世位: 1 日安 (学達)である 手法としる 手をある 計画 の背景とな 「お計画の背景とな	A ・ E	3 ·	С
開設学科 関説期 前期 数科書/教材 都市計画 川上光彦 森北出版株式会社 担当教員 中村 裕文 到達目標 1)都市計画の主要思潮の考えかたを理解する。 2)主要な都市計画思潮と現代の都市計画の関係を理解する。 3)現代都市計画の諸問題について説明できるようになる。 ルーブリック 埋想的な到達レベルの目安 標準 A 過去に実施された都市計画の事例を計画者を挙市と特徴を述べることができる。 現在の都市計画手法を地して関題点にある。 現在の都市計画手法を比較し間題点について、その特徴と問題点について、その特徴と問題点について、お明することができる。 ができる ができる ができる ができる ができる ができる ができる ができる	対象学年 週時間数 注社 ISBN978-4-627- 語 1SBN978-4-627- 語 2とがの目安	5 2 -49613-2 C3051 安 未到達レベルの C 過去に実施されの の事例を知ってい 現在の都市計画手法 似点を知ってい 現代日本の都市 現代で特徴を問いている。 現代で特徴を問いている。	目安 (学到達となる) 計画の背景とない では、	A ・ E	3 ·	С
開設期 前期 都市計画 川上光彦 森北出版株式会社 担当教員 中村 裕文 到達目標	週時間数 注社 ISBN978-4-627- 注的な到達レベルの目安 B に実施された都市計画 例を挙げて特徴を述べ ことができる。 正の都市計画手法と過去類で、 対して特徴を問題点を説明することができる。 代日本の都市計画事例を がてきる。 では、できる。 にの都市計画を説明を ができる。 にの都市計画を説明することができる。 にの都市計画を説明することができる。 にの都市計画を説明を にないても、 に、環境の考え方を学ぶ。 に、環境の考え方を学ぶ。 に、環境の考え方を学ぶ。 に、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	2 -49613-2 C3051 元 本列達レベルの C 過去に実施されるの事例を知っている。 現代の書から、都市計画手法の点を知っている。 現代の書から、都市でいる。 現代の書から、都市でいる。 表を行うため、都市でいる。 表を行うため、都市では、 では、 では、	対している。 一部ではいる。 一部ではいる。 手法と過去をあげて類の。 手をあげて類の。 計画事例をの。 計画の背景とない。	A ・ E	3 ·	С
教科書/教材 都市計画 川上光彦 森北出版株式会社 担当教員 中村 裕文 到達目標	注 ISBN978-4-627-2 目的な到達レベルの目安 B をに実施された都市計画を挙げて特徴を述べてきる。 この都市計画手法と過去類点を説明することができる。 日本の都市計画事例をできる。 日本の都市計画事例をできる。 日本の都市計画を説明 ることができる。 「・環境の考え方を学ぶ。 おことができる。 ことができる。 「・環境の考え方を学ぶ。 のおいて現代の都市計画に このいて現代の都市計画に このいて現代の このいて知代の このいて知代の	表到達レベルの C 過去に実施されたの事例を知ってい 現在の都市計画手法、 似点を知ってい 現代日本の都市間 でいる 現代で特徴を問っている。	対している。 一部ではいる。 一部ではいる。 手法と過去をあげて類の。 手をあげて類の。 計画事例をの。 計画の背景とない。	A ・ E	3 ·	С
担当教員	差的な到達レベルの目安 B 法に実施された都市計画 原例を挙げて特徴を述べ ことができる。 正の都市計画手法と過去類 京を説明することができ 引力を説明することができ できる。 代日本の都を問題点を説明 ができる。 でできる。 でできる。 でできる。	を未到達レベルのC 過去に実施されての事例を知っている。 現在の都市計画でいる。 現代ではている。 現代ではる。 現代ではる。 現代ではる。 では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	対している。 一部ではいる。 一部ではいる。 手法と過去をあげて類の。 手をあげて類の。 計画事例をの。 計画の背景とない。	A ・ E	3 ·	С
到達目標 1)都市計画の主要思潮の考えかたを理解する。 2)主要な都市計画思潮と現代の都市計画の関係を理解する。 3)現代都市計画の諸問題について説明できるようになる。 ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 標準に A 過去に実施された都市計画 の事例をとなったができる. 現在の都市計画手法と過去の対象となっとができる. 現在の都市計画手法追して関点をあができる. 現在の都市計画手法 は できる. 現在の都市計画を表して問題点をとができる. ができる. ができる. ができる. ができる. ができる. ができる. ができる. ができる. がばれの対象となったができる. がは、この特徴と同題にこついて、、こ説明することができる. がができる. がは、この関係 学習・教育到達度目標 B 学習・教育到達度目標 C JABEE a JABEE b JABEE d 教育方法等 概要 近代都市計画の主要思潮を通して都市・関策の進め方・方法 関する考え方、時代的な思潮ながを表しままなができる。 が、カムとの対応を確認すること。 ボートフォリオ (学生記入欄) 理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生についてに記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について記入例 ファラデーの法則、交流の発生について記入例 ファラデーの法則、交流の発生について記入例 ファラデーの法則、交流の発生について記入例 ファラデーの法則、交流の発生について記入例 ファラデーの法則、交流の発生について記入りてください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。 (記入例) ファラボース はいまります はいまりまります はいまりまります はいまりまります はいまりまりまります はいまりまりまりまります はいまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまり	B に実施された都市計画 情例を挙げて特徴を述べ ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。	で 過去に実施されの事例を知っている 現在の都市計画手法・ 似点を知っている 現代日本の都市計画手法・ でいる はいる でいる はいました できます できます いっこう できます できます できます できます できます できます できます できます	対している。 一部ではいる。 一部ではいる。 手法と過去をあげて類の。 手をあげて類の。 計画事例をの。 計画の背景とない。	A ・ E	3 ·	С
2) 主要な都市計画の主要思潮の考えかたを理解する。 2) 主要な都市計画思潮と現代の都市計画の関係を理解する。 3) 現代都市計画の諸問題について説明できるようになる。 ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 標準に	B に実施された都市計画 情例を挙げて特徴を述べ ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。	で 過去に実施されの事例を知っている 現在の都市計画手法・ 似点を知っている 現代日本の都市計画手法・ でいる はいる でいる はいました できます できます いっこう できます できます できます できます できます できます できます できます	対している。 一部ではいる。 一部ではいる。 手法と過去をあげて類の。 手をあげて類の。 計画事例をの。 計画の背景とない。	A ・ E	3 ·	С
2)主要な都市計画思潮と現代の都市計画の関係を理解する。 3)現代都市計画の諸問題について説明できるようになる。 ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 標準に 過去に実施された都市計画の事例と計画者を挙げてその対象を立とができる。 現在の都市計画手法をしてその類似点と相違点、問題点をあげて検討することができる。 都城市の都市計画について、一、元説明することができる。 評価項目3 学科の到達目標項目との関係 学習・教育到達度目標 B 学習・教育到達度目標 C JABEE a JABEE b JABEE d 教育方法等 概要 近代都市計画の主要思潮を通して都市関する考え方、時代的な思潮などをあります。 現代都市計画に影響を与えた主要な都に関する考え方、時代的な思潮などをあります。 「選挙の進め方・方法」 現代都市計画に影響を与えた主要な都に関する考え方、時代的な思潮などをあります。 「選挙の進め方・方法」 現代都市計画に影響を与えた主要な都に関する考え方、時代的な思潮などをあります。 「記入例)ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。(記入例)ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。(記入例)ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。(記入例)ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。(記入例)ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。(記入例)ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。(記入例)ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。(記入例)ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。(記入例)ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。(記入例)ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。	B に実施された都市計画 情例を挙げて特徴を述べ ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。	で 過去に実施されの事例を知っている 現在の都市計画手法・ 似点を知っている 現代日本の都市計画手法・ でいる はいる でいる はいました できます できます いっこう できます できます できます できます できます できます できます できます	対している。 一部ではいる。 一部ではいる。 手法と過去をあげて類の。 手をあげて類の。 計画事例をの。 計画の背景とない。	A ・ E	3 ·	С
理想的な到達レベルの目安	B に実施された都市計画 情例を挙げて特徴を述べ ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。	で 過去に実施されの事例を知っている 現在の都市計画手法・ 似点を知っている 現代日本の都市計画手法・ でいる はいる でいる はいました できます できます いっこう できます できます できます できます できます できます できます できます	対している。 一部ではいる。 一部ではいる。 手法と過去をあげて類の。 手をあげて類の。 計画事例をの。 計画の背景とない。	A ・ E	3 ·	С
A 過去に実施された都市計画 過去の事例と計画者を挙げてその対象となった都市と特徴を述べることができる. 現在の都市計画手法を過去の都市計画手法を助しての類似点と相違点、同題点をあげて検討することができる. 現在の都市計画について、の類似点と相違点について、方できる. 都城市の都市計画について、方できる. お城市の都市計画について、方できる.	B に実施された都市計画 情例を挙げて特徴を述べ ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。 ことができる。	で 過去に実施されの事例を知っている 現在の都市計画手法・ 似点を知っている 現代日本の都市計画手法・ でいる はいる でいる はいました できます できます いっこう できます できます できます できます できます できます できます できます	対している。 一部ではいる。 一部ではいる。 手法と過去をあげて類の。 手をあげて類の。 計画事例をの。 計画の背景とない。	A ・ E	3 ·	С
評価項目1 の事例と計画者を挙げてその対象となった都市と特徴を述べることができる. 現在の都市計画手法を比較してその類似点をあげて検討することができる. 評価項目3 都城市の都市計画について、の場所を表現できる。 評価項目3 都城市の都市計画について、ができる。 ができる。 おびまることができる。 現代のができる。 おびまることができる。 おびまることができる。 対象によることができる。 は、対象によることができる。 がよりが表現することが、表現代都市計画に影響を与えた主要な都市計画に対象を表現して都市計画に影響を与えた主要な都市計画に対象による考え方、時代的な思潮などをある。 は、カートフォリオ (学生記入欄) 「理解の度合」 理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生についる事がないます。 は、対象によりないます。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	原例を挙げて特徴を述べ ことができる。 正の都市計画手法と過去 所市計画手法をあげてき 京を説明することができ でも数を問題点を説明 でも数を問題点を説明 できる。 できる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でではいてもいてもいては でではいてもいてもいては ではいて現代の都市計画に見 いて現代の都市計画に見	型会に表現っている事例を知っています。 現在の都市計画手法は似点を知っています。 現代日本の都市計画手法は以点を知っています。 現代日本の都市計画でいる。 現代日本の都市はでいる。 現代でする。	手法と過去をあげて類る 計画事例を 競点を知っ	A · E	3 •	С
評価項目2 の都市計画手法を比較して	部市計画手法をあげて類点を説明することができれた。 代日本の都市計画事例を けて特徴を問題点を説明ることができる。 「・環境の考え方を学ぶ。 のお計画思潮を中心に講 のいて現代の都市計画に見	現代の都市計画手法: 似点を知ってい。 現代日本の都市 挙げて特徴を問いている	をあげて類る 計画事例を 競点を知っ	Α • Ε		
評価項目3 お城市の都市計画について , その特徴と問題点について , その特徴と問題点について , その特徴と問題点について , その特徴と問題点について , その特徴と問題点について , その特徴と問題点について する。 学習・教育到達度目標 B 学習・教育到達度目標 C JABEE a JABEE b JABEE d 教育方法等 概要 近代都市計画の主要思潮を通して都市・ 現代都市計画に影響を与えた主要な都可 関する考え方、時代的な思潮などをある。 ルネサンス以降の主要な都市計画につい 画との対応を確認すること。 ポートフォリオ (学生記入欄) 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について	げて特徴を問題点を説明 ることができる。 「・環境の考え方を学ぶ。 「市計画思潮を中心に講 ららかじめ予習しておく。 いて現代の都市計画に	挙げて特徴を問題している でいる でいる でいる でいる でいる である	題点を知っ		3 ·	С
学科の到達目標項目との関係 学習・教育到達度目標 B 学習・教育到達度目標 C JABEE a JABEE b JABEE d 教育方法等 概要 近代都市計画の主要思潮を通して都市・関策の進め方・方法 関する考え方、時代的な思潮などをありまま。 ルネサンス以降の主要な都市計画につい画との対応を確認すること。 ポートフォリオ (学生記入欄) 「理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について	す・環境の考え方を学ぶ。 3市計画思潮を中心に講 3らかじめ予習しておく。 3いて現代の都市計画に	、 、 義を行うため、都市 こと。		った時代ネ		
学習・教育到達度目標 B 学習・教育到達度目標 C JABEE a JABEE b JABEE d 教育方法等 概要 近代都市計画の主要思潮を通して都市 授業の進め方・方法 現代都市計画に影響を与えた主要な都可関する考え方、時代的な思潮などをあられます。 ルネサンス以降の主要な都市計画につい画との対応を確認すること。 ポートフォリオ (学生記入欄) 理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について	3市計画思潮を中心に講ららかじめ予習しておく。 らいて現代の都市計画に	義を行うため、都市 こと。		った時代ネ		
教育方法等 概要 近代都市計画の主要思潮を通して都市 現代都市計画に影響を与えた主要な都可関する考え方、時代的な思潮などをある。 注意点 ルネサンス以降の主要な都市計画につい画との対応を確認すること。 ポートフォリオ (学生記入欄) 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について	3市計画思潮を中心に講ららかじめ予習しておく。 らいて現代の都市計画に	義を行うため、都市 こと。		った時代間		
概要 近代都市計画の主要思潮を通して都市 授業の進め方・方法 関する考え方、時代的な思潮などをあら 注意点 ルネサンス以降の主要な都市計画につい 画との対応を確認すること。 ポートフォリオ (学生記入欄) 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生につい	3市計画思潮を中心に講ららかじめ予習しておく。 らいて現代の都市計画に	義を行うため、都市 こと。		った時代間		
授業の進め方・方法 現代都市計画に影響を与えた主要な都可関する考え方、時代的な思潮などをあり ルネサンス以降の主要な都市計画につい画との対応を確認すること。 ポートフォリオ (学生記入欄) 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について	3市計画思潮を中心に講ららかじめ予習しておく。 らいて現代の都市計画に	義を行うため、都市 こと。		った時代記		
関する考え方、時代的な思潮などをあられた。	らかじめ予習しておく。	こと。		つに時代記	ır.	+/17
注意点 ルネサンス以降の主要な都市計画につい 画との対応を確認すること。 ポートフォリオ (学生記入欄) 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について	いて現代の都市計画に		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		当景、	都市に
ポートフォリオ (学生記入欄) 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生について				うため、F	見代の	 D都市計
(学生記入欄) 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 (記入例)ファラデーの法則、交流の発生について						
・前期末試験まで・:	ってはほぼ理解できたが	、渦電流については	はあまり理解でき	なかった。	,	
【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしている。 (記入例) ファラデーの法則に関する基礎問題(・前期中間試験 点数: 総評:		原が解けず、理解不足	足だった。			
・前期末試験 点数: 総評:						
【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたか。 ・総合評価の点数: 総評:	いどうか、記入してくだ	ごさい。				
(教員記入欄) 【授業計画の説明】実施状況を記入してください。						
【授業の実施状況】実施状況を記入してください。 ・前期中間試験まで:						
・前期末試験まで :						
【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。						
授業の属性・履修上の区分 <pre> □ アクティブラーニング</pre>	☑ 遠隔授業	美対応	□ 実務経験	食のある教	牧員に	
授業の属性・履修上の区分	□ 遠隔授業	美対応	□ 実務経験	食のある者	数員に	よる授
□ アクティブラーニング □ ICT 利用	☑ 遠隔授業	美対応 週ごとの到達		食のある者	対員に	よる授
□ アクティブラーニング□ ICT 利用授業計画	とは何を対象とした講義	週ごとの到達	目標	剣のある 教	対員に	よる授

お型 お子にとが の機能について学ぶ。													
おります まります おります まります まります				2週		徴する都市テサインの糸譜を字ひ、形態論基ついた都 形態				形態論の都市計画について理解する.			
1.9世紀初郎の社会規想家によって提案された「理想				. 1	徴する都市デザインの系譜を学び、形態論基づいた都				形態論の都市計画について理解する.				
おおいま 1 日本の 1 日本 1 日本 1 日本の 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本の 1 日本 1 日本 1 日本の 1 日本			4週		形態論に基づいた都市計画の特徴と問題点についてま とめ、都市計画の中心的位置から退いていった理由を 学ぶ				形態論の都市計画について理解する				
7週				5週		せ紀初頭の社会 (ユートピア ÷影響について	○ 思想家によって提○ の概要と、その○ 学ぶ。	案された「理想 後の都市計画に	形態論から機能論への遷移と機能論の都市計画を理解 する.				
7.02 (化時代の都市問題とその解決手法について学ぶ。 750年に明してはおいるとから 750年に明しておいる 750年に明しておいる 750年に明しておいる 750年に明しておいる 750年に明しておいる 750年に明しておいる 750年に明しておいる 750年に明しておいる 750年に明していて 750年に明して、			6週		ルド- の考え	-、フーリエ、 た方と現代都市	ガル二エなどの提 計画への影響を検	案した理想都市 証する。	機能論の都市計画を理解する.				
9週 試験問題の解説及びボートフォリオの記入 ボートフォリオの記入。 採能論の都市計画を理解する。			7週	7週 オ化		スマンのおこた 代の都市問題と	機能論の都市計画を理解する						
10週	ı			. I	前期中間試験			学習の理解度を確認する					
10週				Ī	試験問	問題の解説及て	バポートフォリオの	記入	ポートフォリオの記入. 機能論の都市計画を理解する.				
2ndQ 12週 えた建築家による都市計画に切いて学ぶ。			10ì	10遺 li		(ランスがとれ	田園都市論と,その影響について理解する						
12週 市計画の事業手法とまちづくりについて学ぶ。			11ì	周 :	コルヒ えた延	ごジェ, ライト 建築家による者	、, その他の現代都 『市計画について学』	近代建築家による都市計画の意味と影響を理解する.					
14週 現代の日本の都市計画について学ぶ 現代日本の都市計画を理解する 15週 前期末試験		2ndQ	12週 13週 14週		明治期の日本の都市計画と現代都市の事例を学び、都市計画の事業手法とまちづくりについて学ぶ。			大正から昭和期の日本の都市計画を理解する.					
15週 前期未試験 学習の理解度を確認する。													
日6週 中間試験の解説 ポートフォリオの記入 ポートフォリオの記入 ポートフォリオの記入 ボートフォリオの記入 ボートフォリオの記入 モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 対策													
Total ポートフォリオの記入					前期末試験				学習の理解度を確認する.				
分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週 現代社会における都市計画の課題の位置づけについて説明できる。 4 前1 前1 近現代都市の特質と課題について説明できる。 4 前10 現代にいたる都市計画論について説明できる。 4 前10 現代にいたる都市計画論について説明できる。 4 前14 日本の土地利用計画の仕組みについて説明できる。 4 前14 日本の土地利用計画の仕組みについて説明できる。 4 前14 日本の土地利用計画の仕組みについて説明できる。 5 10 10 10 10 10 10 10			16ì				己入	ポートフォリオの記入					
専門的能力分野別の専門工学建築系分野計画・歴史現代社会における都市計画の課題の位置づけについて説明できる。 近現代都市の特質と課題について説明できる。 現代にいたる都市計画論について説明できる。 日本の土地利用計画の仕組みについて説明できる。 4前10 前10 前14評価割合試験 総合評価割合発表 100 	モデルコ	アカリ	キュ	ラムの	学習	内容と到達	目標						
専門的能力 分野別の専門工学 建築系分野 計画・歴史 近現代都市の特質と課題について説明できる。 4 前11 4 前10 4 前14 6 0 0 0 <	分類			分野		学習内容	学習内容の到達目機	五			到達レベル	/ 授業週	
専門的能力 関工学 建築系分野 計画・歴史 近代の都市計画論について説明できる。 現代にいたる都市計画論について説明できる。 日本の土地利用計画の仕組みについて説明できる。 4 前10 評価割合 試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計 総合評価割合 100 0 0 0 0 100 基礎的能力 60 0 0 0 0 0 60 専門的能力 20 0 0 0 0 0 20							現代社会における都市計画の課題の位置づけについて説明できる。			明できる	4	前1	
現代にいたる都市計画論について説明できる。 4 前14 評価割合 試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計 総合評価割合 100 0 0 0 0 100 基礎的能力 60 0 0 0 0 0 60 専門的能力 20 0 0 0 0 0 20							近現代都市の特質と課題について説明できる。				4	前11	
<th (日本の土地)は、日本の土地、<="" rowspan="3" style="background-color: blue;" td=""><td>専門的能力</td><td>門工学</td><td>± 0.0€</td><td colspan="2">建築系统 建築系统</td><td colspan="4"></td><td>4</td><td>前10</td></th>	<td>専門的能力</td> <td>門工学</td> <td>± 0.0€</td> <td colspan="2">建築系统 建築系统</td> <td colspan="4"></td> <td>4</td> <td>前10</td>	専門的能力	門工学	± 0.0€	建築系统 建築系统						4	前10	
評価割合 試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計 総合評価割合 100 0 0 0 0 100 基礎的能力 60 0 0 0 0 0 60 専門的能力 20 0 0 0 0 0 20								現代にいたる都市計画論について説明できる。				4	前14
試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計 総合評価割合 100 0 0 0 0 100 基礎的能力 60 0 0 0 0 0 60 専門的能力 20 0 0 0 0 0 20								日本の土地利用計画の仕組みについて説明できる。				4	前14
総合評価割合 100 0 0 0 0 100 基礎的能力 60 0 0 0 0 0 60 専門的能力 20 0 0 0 0 0 20	評価割合												
基礎的能力 60 0 0 0 0 0 60 専門的能力 20 0 0 0 0 0 0		試験 合評価割合 100			発表		相互評価態度		ポートフォリオーその他		合	<u></u>	
専門的能力 20 0 0 0 0 0 0 20	総合評価割						0	0	0	0			
	基礎的能力						0	0	0	0	60	50	
分野横断的能力 20 0 0 20 20	専門的能力 20		20 0		0		0	0	0	0	20		
	分野横断的	20	0			0	0	0	0	20)		